

令和6年度 与野南中学校の学習について

教科	国語科	学年	第1学年	担当教員	
----	-----	----	------	------	--

1. 持ち物

【通常】教科書、ノート、ファイル、ワーク、国語便覧、国語辞典等

【硬筆】書写教科書、硬筆ペン、お手本、用紙等 【毛筆】書写教科書、毛筆セット（筆、硯、墨液、文鎮、下敷き）、新聞紙等

2. 授業の受け方

- ・漢字や文法の小テストに向けて、範囲を事前に学習し、満点を目指してがんばりましょう。
- ・教科書は内容をつかむまで何度も読みましょう。また、正しく読めるように漢字を調べましょう。
- ・表現活動では、聞き手を意識して適切な声の大きさを意識しましょう。
- ・文字は、読み手を意識して丁寧に書くことを意識しましょう。

3. 定期テスト・評価

(1) 評価の観点・評定について

評価の観点	評価の資料
①知識・技能	定期テスト、小テスト（漢字・文法）、提出物（プリント、書写作品）等
②思考・判断・表現	定期テスト、提出物（プリント、作文、ノート）、表現活動等
③主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組みの様子、提出物、表現活動、定期テスト等

<評定>

評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1または2
-------	-------	-------	---------------	-------	-----------

※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。

(2) 定期テストについて

定期テストでは、授業で学習したことを中心に、教科書の内容から高校入試に対応できるレベルの発展問題まで幅広く出題します。テストに向けて、教科書や授業プリント、ノートの板書事項の見直しを行い、副教材（国語、漢字、文法）の問題に積極的に取り組みましょう。

また、テストの問題文をよく読み、問いに正対した答え方ができるように意識しましょう。

4. 年間授業計画

学期	月	単元・学習内容	教科書等該当ページ
1	4	「ふしぎ」、「桜蝶」、「お気に入りの一品を紹介する」	14～25
	5	「自分の脳を知っていますか」、文法、硬筆	32～40、27
	6	「資料から得た根拠をもとに意見文を書く」、「ベンチ」	41～43、52～61
	7	「全ては編集されている」	62～63
2	8	漢字・言語事項	
	9	「森には魔法使いがいる」、文法	86～97、98
	10	「根拠を明確にして意見文を書く」、古文、漢文	99～101、110～127
	11	「蜘蛛の糸」、「河童と蛙」、「オツベルと象」	128～164
	12	書き初め	
3	1	「言葉がつなぐ世界遺産」、	200～211、
	2	「少年の日の思い出」、文法	240～256
	3	四季の詩、言語事項	236～239、257～259

令和6年度 与野南中学校の学習について

教科	社会科	学年	第1学年	担当教員	
----	-----	----	------	------	--

1. 持ち物

【歴史】教科書、資料集、ノート、授業ファイル（黄色）、地図帳

【地理】教科書、資料集、ノート、授業ファイル（黄色）、地図帳

※問題集（ワーク）、用語図鑑、色ペン・色鉛筆・蛍光ペンも手元にあると便利です。

2. 授業の受け方

授業ではプリントで重要事項を網羅的に学習し、各自のノートに要約を中心としたまとめを行います。気づいた事をメモに取り、自分の意見や考え、周りのクラスメイトの発言で気づいたこと、資料集を見て重要だと思われる部分、タブレット端末で調べた情報等を積極的に書き加えることが重要です。また、新聞やニュース等に関心を持ち、日常生活との関連を見つけることで、より学びが深まります。

3. 評価・定期テスト

(1) 評価の観点・評定について

評価の観点	評価の資料
①知識・技能	定期テスト、小テスト、提出物(ノート、プリント、レポート)等
②思考・判断・表現	定期テスト、提出物(ノート、プリント、レポート)等
③主体的に学習に取り組む態度	授業への取組の様子、提出物等、定期テスト

<評定>

評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1または2
-------	-------	-------	---------------	-------	-----------

※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。

(2) 定期テストについて

定期テストでは、授業で学習したことを中心に、教科書の内容から高校入試に対応できるレベルの発展問題まで幅広く出題します。テストに向けて、授業プリントや資料集、ノートへの板書事項の見直しを行い、副教材（ワーク、カラープリント等）の問題に積極的に取り組みましょう。

4. 年間授業計画

学期	月	単元・学習内容	教科書等該当ページ
1	4	【地理的分野】	
	5	第1章「世界の姿」、第2章「日本の姿」	教科書P 1～3 2
	6	【歴史的分野】第1章「歴史へのとびら」	教科書P 1～1 6
	7	第2章「古代までの日本」	教科書P 1 8～6 0
2	8	【地理的分野】	
	9	第1章「世界各地の人々の生活と環境」	教科書P 3 4～5 3
	10	第2章「世界の諸地域」	教科書P 5 5～1 3 9
	11		
	12		
3	1	【歴史的分野】	
	2	第3章「中世の日本」	教科書P 6 2～9 6
	3		

令和6年度 与野南中学校の学習について

教科	数学科	学年	第1学年	担当教員	
----	-----	----	------	------	--

1. 持ち物

必ず必要なもの：教科書、ワークブック、ノート、タブレット端末
 必要かもしれないもの：定規、コンパス、三角定規、分度器

2. 授業の受け方

- ①教科書やプリント教材で基本を学ぶ（自分で考える、仲間と教えあう）
- ②ワークブックやClassNoteBookの問題で定着させる（基本を見つけて使う）
- ③自分で何ができるようになったか確認し、振り返る
- ④自分で課題を選び、課題解決能力を身に着ける（基本を見つける 基本を作る）

3. 定期テスト・評価

(1) 評価の観点・評定について

評価の観点	評価の資料
①知識・技能	定期テスト、小テスト、授業中の発言や自己評価
②思考・判断・表現	定期テスト、小テスト、授業中の発言や自己評価
③主体的に学習に取り組む態度	授業中の学習への取組の様子、定期テスト、自己評価

<評定>

評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1または2
-------	-------	-------	---------------	-------	-----------

※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上記の表のように評定を行う。

(2) 定期テストについて

評価の主な材料になります 知識 技能 思考判断の3つの観点での出題です

4. 年間授業計画

学期	月	単元・学習内容
1	4	1章 正の数負の数 2章 文字の式
	5	
	6	
	7	
2	8	3章 方程式 4章 変化と対応 5章 平面図形
	9	
	10	
	11	
	12	
3	1	6章 空間図形 7章 データの活用
	2	
	3	

令和6年度 与野南中学校の学習について

教科	理科	学年	第1学年	担当教員	
----	----	----	------	------	--

1. 持ち物

教科書・資料集・ノート・ファイル

※実験や学習内容によっては、追加で持ち物をお願いする場合があります。

(保護メガネやパソコンなど)

2. 授業の受け方

基本的には板書をノートに写したり、説明を聞いたりという活動が中心となります。その中で、まとめ方の工夫(重要な用語に線を引く、気になったことは調べて記入するなど)をするとより知識の定着につながると思います。また、実験が学習計画に組み込まれているため、それぞれの実験について「目的」、「方法」を理解し、それを基に「結果」、「考察」をまとめられるようにしましょう。

3. 定期テスト・評価

(1) 評価の観点・評定について

評価の観点	評価の資料
①知識・技能	定期テスト、小テストなど
②思考・判断・表現	定期テスト、実験レポート、小テストなど
③主体的に学習に取り組む態度	定期テスト、授業に取り組む姿勢、授業ノート、ワーク

<評定>

評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1または2
-------	-------	-------	---------------	-------	-----------

※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。

(2) 定期テストについて

「知識・技能」の問題が7割、「思考・判断・表現」の問題を3割程度出題することが多いです。テストに向けて、教科書、資料集の見直しを行い、副教材(ワーク、プリント等)の問題に積極的に取り組みましょう。実験の方法や結果、考察の部分まで理解し、テストに臨みましょう。また、「思考・判断・表現」については、基本事項をしっかりと理解した上で取り組むことができる問題(計算や記述など)が多いです。

4. 年間授業計画

学期	月	単元・学習内容	教科書等該当ページ
1	4	いろいろな生物とその共通点	教科書 P16～63
	5	1章 植物の特徴と分類	
	6	2章 動物特徴と分類	
	7	身の回りの物質	
2	8	1章 いろいろな物質とその性質	教科書 P130～203
	9	2章 いろいろな気体とその性質	
	10	3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化	
	11	身近な物理現象	
	12	1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象	
3	1	大地の成り立ちと変化	教科書 P64～129
	2	1章 身近な大地 2章 ゆれる大地	
	3	3章 火をふく大地 4章 語る大地	

令和6年度 与野南中学校の学習について

教科	音楽科	学年	全学年	担当教員	
----	-----	----	-----	------	--

1. 持ち物

<ul style="list-style-type: none"> ・ファイル ・教科書（器楽+該当学年の教科書） ・キミウタ ・筆記用具
--

2. 授業の受け方

<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の楽しさを味わうためにメリハリをつけて授業を受ける。 ・とにかく一生懸命やってみる。失敗を恐れず、声を出す。
--

3. 定期テスト・評価

(1) 評価の観点・評定について					
評価の観点		評価の資料			
① 知識・技能	・実技テスト・小テスト・プリント ・授業での発言、取り組み				
②思考・判断・表現	・実技テスト・小テスト・プリント ・授業での発言、取り組み				
③主体的に学習に取り組む態度	・実技テスト ・プリント ・授業での発言、取り組み				
<評定>					
評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1または2
<p>※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。</p>					
(2) 定期テストについて					
<ul style="list-style-type: none"> ・実施せず、普段の授業における積み重ねで評価を行う。 					

4. 年間授業計画

歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・共通歌唱教材（夏の思い出、浜辺の歌、花） ・合唱コンクール（学年合唱曲+クラス選択曲） ・卒業式歌（旅立ちの日に）※3年生は学年での式歌も加わる
器楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ギター ・箏
創作	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムによる創作 ・旋律を用いた創作
鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・オーケストラ作品の鑑賞 ・伝統芸能の鑑賞（能、歌舞伎）

令和6年度 与野南中学校の学習について

教科	美術科	学年	全学年	担当教員	
----	-----	----	-----	------	--

1. 持ち物

教科書、クリアブック、筆記用具、鉛筆
 その他制作に必要な用具（題材によって異なる）

2. 授業の受け方

- ・事前の準備を心がけ、忘れ物をしないようにしましょう。
- ・説明にしっかりと耳を傾けて授業内容の理解に努め、主体的に制作に取り組みましょう。
- ・日常的に目にするデザインや芸術作品に目を向け、そこから感じ取ったものを自身の作品作りに生かしましょう。
- ・作品は必ず完成させ、期限を守って提出しましょう。また、構想や感想を書き込むプリントも同様に、しっかりと記入して提出しましょう。

3. 定期テスト・評価

(1) 評価の観点・評定について

評価の観点	評価の資料
①知識・技能	作品、学習プリントの内容および記入状況、
②思考・判断・表現	作品、アイディアスケッチ等制作過程の実施状況、学習プリントの記入内容
③主体的に学習に取り組む態度	作品および作品の提出状況、授業中の制作過程、プリント類やレポートの記入状況

<評定>

評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1または2
-------	-------	-------	---------------	-------	-----------

※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。

(2) 定期テストについて

定期テストは実施しません。

4. 3年間の授業計画・学習内容

1 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス 美術室でのルール、持ち物、授業への心構え ・デザイン「クリアブックを自分流に」 3年間使用するクリアブックの背表紙をデザイン ・工芸「ずっと触っていたいペン」 木材を加工してオリジナルのペンを制作する ・絵画「絵手紙を描こう」 送る相手を決め、相手を思って絵手紙を制作して送る ・彫塑「あっ、美味しそう！」 紙粘土で食べ物を作り、アクリルガッシュ等で彩色する ・鑑賞（通年）
2 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン「世界一周絵文字の旅」 絵文字の技法で、自分で選んだ地名をデザインする ・彫刻「レリーフを作ろう」 動植物をモチーフにしたレリーフの制作 ・絵画「オリジナルの切り絵を作ろう」 自分で構想したテーマで、オリジナルの切り絵を制作する ・鑑賞（通年）
3 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画「和で伝える和の心」 貼り絵・ちぎり絵の技法で、修学旅行の思い出を作品にする ・工芸「大切なものを入れる箱」 寄木細工的な技法で、卒業記念品の印鑑を入れる箱を制作する ・鑑賞（通年）

令和6年度 与野南中学校の学習について

教科	保健体育科	学年	全学年	担当教員	
----	-------	----	-----	------	--

1. 持ち物

教科書、実技副読本、ファイル、筆記用具、ハチマキ、ネームビブス（1年のみ）

2. 授業の受け方

- ・健康管理を含めて、心と体の準備をし、忘れ物のないようにしましょう。
- ・安全の保持に十分留意し、安全な活動を進んでおこなひましょう。
- ・安全や体の健康のためにも、運動に適した靴を履いてきましょう。
- ・授業中のけがや体調不良の時には、無理をせず、先生に申し出ましょう。

3. 定期テスト・評価

(1) 評価の観点・評定について

評価の観点	評価の資料
①知識・技能	単元テスト、技能テスト、授業での観察、学習カードの記述内容等
②思考・判断・表現	授業での観察（話し合い活動等）、学習カードの記述内容等
③主体的に学習に取り組む態度	学習カードの記述内容、授業内の発表、授業規律を意識した態度等

<評定>

評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1または2
-------	-------	-------	---------------	-------	-----------

※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。

(2) 定期テストについて

定期テストは実施せず、単元の中での各種テストや普段の授業における積み重ねで評価を行う。

4. 令和6年度の3学年の授業計画・学習内容（予定）

学期	1 学年	2 学年	3 学年
1 学期	体づくり運動（新体力テスト含む） 陸上競技（短距離・リレー） 水泳 保健・体育理論	体づくり運動（新体力テスト含む） 陸上競技（短距離・リレー） 水泳 保健・体育理論	体づくり運動（新体力テスト含む） 陸上競技（短距離・リレー） 水泳 保健・体育理論
2 学期	球技（ゴール型・ネット型） 陸上競技（走り幅跳び・長距離走） 器械運動（マット運動） ダンス 保健・体育理論	球技（ゴール型・ネット型） 陸上競技（走り幅跳び・長距離走） 器械運動（跳び箱運動） ダンス 保健・体育理論	球技（ゴール型 or ネット型） ※種目選択 陸上競技 or 器械運動 ※領域選択 陸上競技（長距離走） ダンス 保健・体育理論
3 学期	球技（ベースボール型） 武道（柔道） 保健・体育理論	球技（ベースボール型） 武道（柔道） 保健・体育理論	球技（ベースボール型） 武道（柔道） 保健・体育理論

令和6年度 与野南中学校の学習について

教科	技術・家庭科	学年	全学年	担当教員	
----	--------	----	-----	------	--

1. 持ち物

教科書、総合ノート、ファイル

その他実習等で必要なものは授業内で指示します。

2. 授業の受け方

- ・授業や実習で必要な道具・材料などの準備をし、忘れ物のないようにしましょう。
- ・安全の保持に十分留意し、安全な活動・作業を進んでおこないましょう。
- ・日頃から家族の一員として積極的に家庭の仕事をおこない、生活の中から、「知りたい・工夫したい・やってみよう」ことを見つけ、学習したことを生活の中で生かしていきましょう。
- ・提出物は必ず完成させ、期限を守って提出しましょう。

3. 定期テスト・評価

(1) 評価の観点・評定について

評価の観点	評価の資料
①知識・技能	学習過程における技能の習熟状況。完成した作品、レポート、学習プリントの記入状況、定期テストなど。
②思考・判断・表現	既習事項の活用状況や実際の生活の場で工夫したり、創造したりする状況など。完成した作品、レポート、学習プリントの記入状況など。
③主体的に学習に取り組む態度	作業や実習、実習計画立案への積極性、毎時間の学習への取り組み状況、作品の提出状況、レポートや作文、定期テスト、家庭での実践記録など。

<評定>

評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB、BBB、BBC：3	BCC：2	CCC：1または2
-------	-------	-------	---------------	-------	-----------

※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。

(2) 定期テストについて

1学期期末テスト、2学期期末テスト、学年末テストの年間3回の定期テストにおいて、技術分野50点、家庭分野50点の合計100点を満点とするテストを行う。教科書やノート、ワーク、プリントを何度も読み、理解しながら見直す。(3年生の学年末テストは実施しない)

4. 各分野の3年間の授業計画・学習内容

※ 両分野とも1学年の初めにガイダンスを行う。

技術分野	A 材料と加工の技術	(主に1年生の前期、木材を中心とした加工実習)
	B 生物育成の技術	(1学年 通年、動物の飼育・水産生物の栽培・作物の栽培について学習し、作物の栽培を実際に行う)
	C エネルギー変換の技術	(主に2年生の前期、エネルギー資源の利用・変換の技術について学習し、電気エネルギーの変換実習を行う)
	D 情報の技術	(1学年 情報の技術・情報とコンピュータ・情報セキュリティ) (2学年 情報の表現と伝達・情報モラル) (3学年 双方向性のあるコンテンツ・計測制御)
家庭分野	A 家族・家庭生活	(主に3学年 通年 赤ちゃん・幼児触れ合い体験等)
	B 衣食住の生活	(1学年 衣服の手入れと保管・持続可能な住生活・防災教育) (2学年 日常食の調理・生活を豊かにするものの製作)
	C 消費生活・環境	(主に2学年 通年 家庭生活と消費生活・消費者被害と自立)

令和6年度 与野南中学校の学習について

教科	G・S	学年	第1学年	担当教員	
----	-----	----	------	------	--

1. 持ち物

・教科書 ・ノート ・ファイル ・和英辞典 ・タブレット

2. 授業の受け方

<ol style="list-style-type: none"> 1. 先生が話しているときは静かに注目して聞き、適宜ノートにメモをとる 2. 名前を呼ばれたら、大きな声で“Yes!”と返事をする 3. 忘れ物をしてしまったら、授業前の休み時間に報告する ※教科書忘れの場合 → デジタル教科書を授業前に準備しておく 4. 翻訳機を使って、文の翻訳を行わない（語句の意味調べに使用することは可） 5. ためらわずに英語を使う、とにかく英語で伝える
--

3. 定期テスト・評価

(1) 評価の観点・評定について					
評価の観点		評価の資料			
①知識・技能		ペーパーテスト、パフォーマンステスト、文章による説明、実際に知識や技能を用いる場面を設ける 等			
②思考・判断・表現		ペーパーテスト、パフォーマンステスト、論述やレポートの作成、グループでの話し合い、ポートフォリオの活用 等			
③主体的に学習に取り組む態度		ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察、生徒による自己評価や相互評価、定期テスト 等			
<評定>					
評価：評定	AAA：5	AAB：4	ABB, BBB, BBC：3	BCC：2	CCC：1または2
<p>※①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点それぞれについてA、B、Cの評価を行い、それらを総合して上の表のように評定を行います。</p>					
(2) 定期テストについて					
<p>1学期中間テスト、1学期期末テスト、2学期中間テスト、2学期期末テスト、学年末テストの年間5回の定期テスト（放送による問題を含む）において100点満点とするテストを行う。</p>					

4. 年間授業計画

学期	月	単元・学習内容	教科書等該当ページ
1	4	Program 0 アルファベット	4
	5	Program 1 be 動詞 am / are、Where	21
	6	Program 2 一般動詞、複数形、When	29
	7	Program 3 can、What	39
2	8	Program 4 人称代名詞、Who	53
	9	Program 5 三人称単数現在	61
	10	Program 6 代名詞、Why、Because	69
	11	Program 7 There is / are ～、How	79
	12	Program 8 現在進行形	95
3	1	Program 9 一般動詞の過去形	103
	2	Program 10 be 動詞の過去形、過去進行形	113
	3	1年間のまとめ	125